

7月報告書



常陸太田市地域おこし協力隊 ぶどう栽培 鈴木駿也

行った主な活動

■ 摘粒

粒同士が押し合って潰れないように粒を間引いた。6月に一度摘粒をしたが全体的に少し粒が多すぎたため、再度摘粒をした。



■ 傘、袋掛け

傘掛けは日焼け防止や雨除けのために、袋掛けはぶどうを病害虫から守るために、摘粒が終わったら行う。袋にはいくつか種類があり、黒系や赤系のぶどうは日に当てて着色を促すために透明の袋、緑系のぶどうは日焼けしないように白や青の袋、他にも収穫時期をずらすなどの目的で色を使い分けた。



活動を行った感想など

1度目の摘粒で粒を多く残しすぎてしまい、再度摘粒をすることになり2度手間になってしまったので、今回の反省を活かして今後は一度で房型を整えられるようにしたい。

袋をかける時、閉め口の締めが甘かった。閉め口が緩いと雨や虫が入ってきてしまうので、しっかりきつく締めるように心がけたい。